

警告 使用時の注意事項

- お子さまを乗せたまま本製品を持ち上げて移動しないでください。
- お子さまを乗せたままサドルの高さを調節しないでください。手や指を挟む、ぶつかる、転倒するなどして、ご自身や第三者がケガをするおそれがあります。
- 不安定な場所でお子さまの乗せ降ろしをしないでください。
- お子さまの乗せ降ろしの際は、本体が不安定になり転倒するおそれがあります。平らな場所で本製品が動かないことを確認して、しっかりと支えてください。傾斜地や不安定な場所の場合、大人が支えていてもタイヤが動き出したり、倒れるなど、事故の原因となるおそれがあります。
- サドルの上にお子さまを立たせしないでください。ペダル、本体フレームの上にお子さまを乗せしないでください。
- お子さまがサドルから立ち上がらないようにご注意ください。サドルに立ち上がってコントロールバーによりかかると三輪車ごと転倒するおそれがあります。
- お子さまをサドル以外の部分に乗せしないでください。
- ストラップやひも状のものをお子さまの近くに取り付けしないでください。お子さまの首に絡まるおそれがあります。
- ハンドルに鞆や袋などを掛けた状態で走行しないでください。バランスを崩して転倒するなど、思わぬケガをするおそれがあります。
- 平坦な場所で、ハンドルを両手で握り、進行方向を向いて、乗降してください。傾斜地の場合、支えていてもタイヤが動き出したり、倒れるなど、事故の原因となるおそれがあります。
- フローリングなど室内の床で使用すると、タイヤの跡が残ったり、床を汚すおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま離れないでください。
- 坂の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
- 製品に寄りかかったり、一部に荷重をかけしないでください。
- 後方転倒に注意してください。コントロールバーにものを吊り下げると、後方に転倒しやすくなります。
- 溝部分を通る際は、路面の溝などに車輪を取られたり、挟まったりしないよう注意してください。
- バスケットを持って本体を持ち上げたり、移動しないでください。抜け落ちて思わぬ事故の原因となる場合があります。バスケットの耐荷重は500gまでです。耐荷重を守ってご使用ください。

警告 使用環境に関する注意事項

- 交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所、自動車の周辺では使用しないでください。
- 乾燥した平らな地面で使用してください。凹凸や排水溝の格子等の隙間は避けて使用してください。
- 水、油、砂の中での走行は、思わぬ事故や破損の原因となりますのでお止めください。
- 階段やエスカレーター、大きな段差のあるところや、坂道、道路、濡れた路面、砂浜、砂浜、河原、ぬかるみなど悪路では使用しないでください。
- 雨など悪天候時に使用しないでください。スリップする危険性が高くなります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、滑りやすい路面では使用しないでください。
- 風の強いときや雷が鳴っているときなど、悪天候時は使用しないでください。
- 路面の状態などによっては、後輪を固定しても動き出したり、転倒するおそれがありますので注意してください。
- 夜間や視界が不十分な際には使用をしないでください。
- お子さまや第三者のケガにつながる転倒や衝突のおそれがあるため、注意してご使用ください。
- 必ず大人の目の届く場所で使用し、常にお子さまから目を離さないでください。また、まわりや地面の状況に注意を払って使用してください。

注意 操作や取り扱いに関する注意

- 本製品の操作や取扱いは、適切な状況判断ができる人が行ってください。
- 本製品を分解、改造しないでください。改造等を行った製品は保証の対象外となります。
- 付属品以外は使用しないでください。
- お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。
- 本製品以外のパーツを使用したり、アクセサリ類を本体に装着して使用しないでください。本体が正しく作動せずバランスを崩して転倒するなど、思わぬケガをするおそれがあります。

注意 メンテナンス・保管に関する注意事項

- 本製品の上に重量物を載せないでください。タイヤが曲がるなど変形・破損の原因となり、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 部品に緩みや外れがないか、特に後輪、ペダル、サドルおよびハンドルを定期的に確認してください。
- 部品の破損や損傷がないか定期的に確認し、もし発生した場合はこの製品の使用を停止してください。
- 摩耗や剥離の症状がないか定期的に確認し、もし発生した場合はこの製品の使用を停止してください。
- 本製品をお子さまの手の届く場所に保管しないでください。思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 直射日光や雨風の当たらない場所で保管をしてください。色あせや部品がサビるなど劣化を早め、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 直射日光やストーブの温風などに本製品を長時間さらさないでください。また高温の車内などに長時間保管しないでください。
- 火の近くや車内など、高温になる場所には置かないでください。部品の変形などがおこる場合があります。
- 本製品を高所や不安定な場所に保管しないでください。
- 高温・高湿な環境で長時間保管しないでください。カビが発生したり劣化するおそれがあります。
- 廃棄する際は、お住まいの各自治体の示す方法に従ってください。

注意 使用条件に関する注意事項

- 衣服などがタイヤ近くに垂れないように注意してください。衣服がタイヤに巻き込まれるなど、思わぬ事故が発生するおそれがあります。
- 適切な操作のため必ずお子さまが両手でハンドルをにぎるようにしてください。
- お子さまが乗降する際は、ハンドルを両手でつかみ、進行方向を向いてお乗りください。
- 車輪の周囲に手を入れしないでください。
- 聴覚や視覚の妨げになる物、または製品の機能を損なう物と一緒に使用しないでください。
- 本製品の三輪車等への組み替えは、お子さまや他のお子さまの手や指などを挟むおそれがありますので、お子さまや他のお子さまが近くにいないことを確認してから、必ず大人の方が行ってください。
- タイヤは磨耗するとスリップする危険性が高くなります。安全確保のため速やかに交換してください。
- 本製品に無理な力や、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 自転車・オートバイ・自動車等で引っ張る、荷物の運搬等、お子さまが乗って遊ぶ本来の目的以外には使用しないでください。本体が破損したり、お子さまや第三者がケガをするおそれがあります。

お手入れ方法

- 汚れが付着した場合、乾いた布や水で濡らし固く絞った布で拭き、完全に乾燥させてください。
- アルコール成分を含む除菌シート等で製品を拭かないでください。変色、変形するなど製品が劣化する可能性があります。

交換部品

本製品の交換パーツは、以下URLにアクセスしご購入いただけます。
(交換可能パーツ)
後輪、サドル取付ノブ、ペダル
<https://www.dadway-onlineshop.com/shop/>



GLOBBER

LEARNING TRIKE

3in1・PLUS **EC** LOGIC

ラーニングトライク 3in1 プラスECO

取扱説明書 兼 保証書

はじめに
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、必要に応じてすぐに取り出せる場所に保管してください。

この取扱説明書の対象となる製品
ラーニング トライク 3in1 プラスECO

安全上のご注意

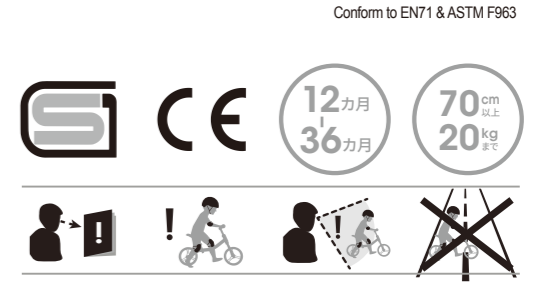
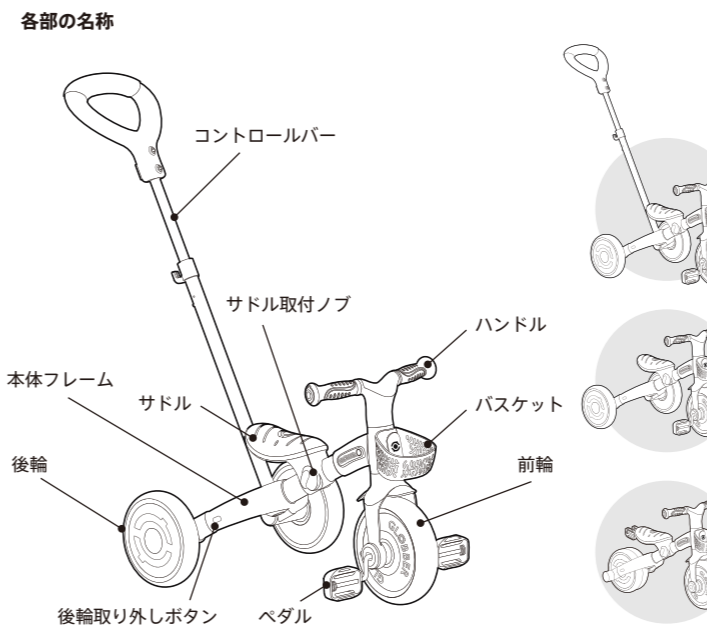
- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 小さなお子さまにも安全な使用方法を大人の方から丁寧に伝えたいから使用を開始してください。
- 本製品はお子さまの成長に合わせて、コントロールバー付き三輪車から三輪車、トレーニングバイクの順にモード変更します。お子さまが乗り方に十分に慣れ、次のモードに進んでよいかを必ず保護者の方が判断してください。
- モードの変更は必ず保護者の方が行ってください。
- 本製品の使用中は、常にお子さまの状態や様子を確認してください。
- 本取扱説明書をお読みになった後は、必要に応じてすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- 本製品を第三者に譲渡する場合は、本取扱説明書と一緒に譲渡してください。

本取扱説明書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を、危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** 注意事項を守らないと「**死亡や重傷を負うおそれがある内容**」です。
- 注意** 注意事項を守らないと「**軽傷を負うおそれがある内容**」です。

警告 使用条件に関する注意事項

【対象月齢】 12カ月から36カ月まで
【耐荷重】 20kgまで
【身長】 70 cm以上
●12カ月未満のお子さまはご使用いただけません。



日本正規総代理店：株式会社ダッドウェイ
神奈川県横浜市港北区新横浜2-15-12
お客さま相談室：0120-880-188
www.dadway.com


SGマークの賠償制度

SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたとき認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。幼児用三輪車(コントロールバー付き三輪車、三輪車)の場合は、お買い上げ日より2年以内、ペダルなし二輪玩具(トレーニングバイク)の場合はお買い上げ日より4年以内が有効期間となります。

●賠償についてのご注意
認証された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも傷害など身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合
損害を被った消費者(お子さまなどの場合は保護者)が、事故発生日から60日以内に下記までご連絡願います。
対象月齢：12カ月から36カ月まで
耐荷重：20kgまで 身長：70cm以上

一般財団法人 製品安全協会
東京都台東区竜泉2丁目20番2号
ミサワホームズ三ノ輪2階
<https://www.sg-mark.org/reparation/>



- 警告 使用前の注意事項**
- すべての部品が揃っていることを確認してから、組み立てを開始してください。不足があったときは、お客さま相談室へご連絡ください。
 - 梱包材は、開封後、直ちに捨ててください。お子さまが口に入れて窒息するおそれがあります。
 - 組み立ては必ず大人の方が行ってください。また、近くにお子さまがいない場所で行ってください。
 - 本製品は一人乗り用です。二人以上を本製品に乗せしないでください。お子さまや第三者がケガをするおそれがあります。
 - 組み立てに必ず大人の方が行ってください。また、近くにお子さまがいない場所で行ってください。
 - 本製品は一人乗り用です。二人以上を本製品に乗せしないでください。お子さまや第三者がケガをするおそれがあります。
 - 使用前に本製品が正しく使用できるか、以下の項目について点検してください。
 - ・すべての部品が揃っていること
 - ・ノブなど、固定部分に緩みやきしむ音がないこと
 - ・本体にゆがみや破損がないこと
 - ・前輪、後輪の回転に異常がないこと
 - 道路交通法をはじめとする交通規則に従って正しく使用してください。
 - 小さなお子さまにも安全な使用方法を大人の方から丁寧に伝えたいから使用を開始してください。
 - 本製品はお子さまの足で減速します。お子さまの歩行やペダルの回転を停止することで動きを止められます。お子さまが自分で常に停止できることを確認してください。安全のため必ずスニーカーなどの靴を履かせてください。
 - コントロールバーを使用する際は、必ず大人の方が操作を行い、お子さまの足が巻き込まれないようご注意ください。
 - 本来の用途以外では使用しないでください。
 - 破損や異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、お客さま相談室にご連絡ください。破損、故障をしたまま使用しないでください。

同梱品
本体フレーム、前輪、後輪(2個)、ハンドル、サドル、コントロールバー(シャフト、持ち手)、ペダル(2個)、サドル取付ノブ、バスケット、取扱説明書兼保証書(本書)

<コントロールバー付き三輪車で使用する時>

コントロールバー付き三輪車の組み立て

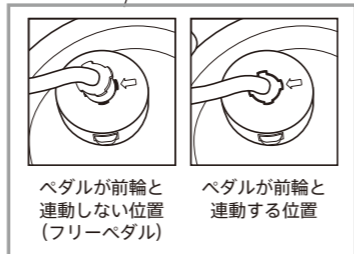
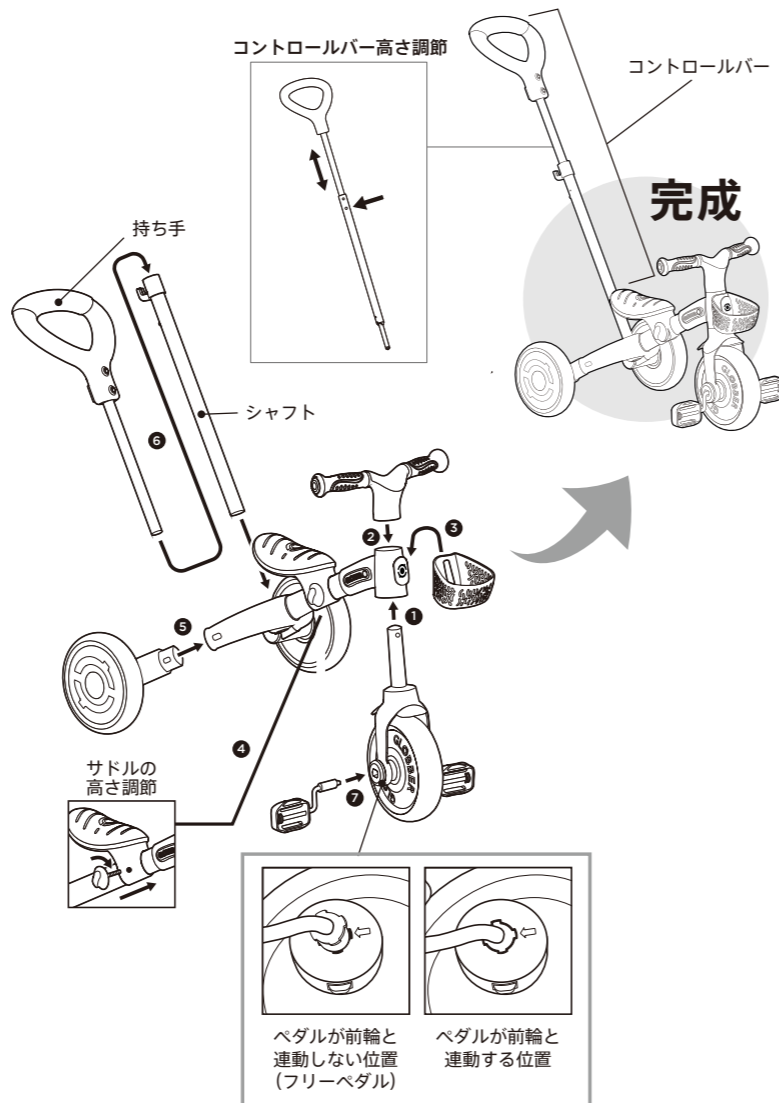
お子さまがサドルに座り、ハンドルを握り、保護者の方が後方からコントロールバーを押して進むモードです。

- ①前輪部を本体フレームに差し込みます。
- ②ハンドルを前輪部に差し込みます。ハンドルがしっかりと固定されているか、ハンドルを引っ張って確認します。
- ③バスケットを右図のように取り付けます。
- ④サドル取付ノブを外し、サドルを本体フレームに取り付けます。サドルの取り付け穴を本体フレームの穴と合わせノブを差し込み、サドルがしっかりと固定されるまでノブを締め込みます。サドルの高さは、地面から27.1cmと28.3cmの2カ所で調節可能です。
- ⑤2つの後輪を本体フレームに本体フレームの外側にタイヤがくるように取り付けます。後輪取り外しボタンがカチッとなるまでしっかりと取り付けます。抜け落ちないか引っ張って確認します。
- ⑥コントロールバーの持ち手をシャフトに差し込み、本体フレームの後部にあるコントロールバー用差し込み穴に取り付けます。
- ⑦前輪の赤いペダル脱着ボタンを押したまま、左右のペダルを前輪に取り付けます。ペダルがしっかりと前輪に固定され、抜けないか引っ張って確認してください。

※ペダルの取り付け位置により、ペダルと前輪を連動させない(フリーペダル)ようにすることができます。(右図参照)フリーペダル時は前輪が回ってもペダルが空転し、お子さまの足をペダルに乗せたままコントロールバー付き三輪車を押すことができますようになります。

警告

- 使用前に、サドルが確実に本体フレームに固定され、サドル取付ノブが緩んでいないことを確認してください。
- 必ず大人の方がコントロールバーをもって使用してください。
- コントロールバーは、自走できないお子さまのための補助具です。お子さまがペダルをこいで自走できるようになったら必ず本体から外してください。



※ペダルの差し込み位置でフリーペダルに変更可能

<三輪車で使用する時>

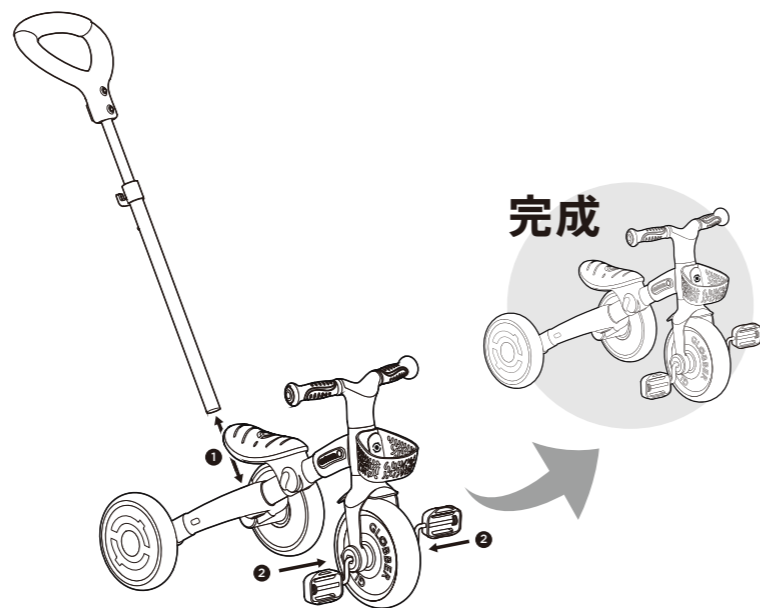
コントロールバー付き三輪車から三輪車への組み立て

お子さまが自分でペダルをこいで進むモードです。

- ①コントロールバーを本体フレームから外します。
- ②赤いペダル脱着ボタンを押しながら左右のペダルを前輪の一番深い位置に押し込み、前輪とペダルが連動することを確認してください。ペダルがしっかりと前輪に固定され、抜けないか引っ張って確認してください。

警告

- 使用前に、サドルが確実に本体フレームに固定され、サドル取付ノブが緩んでいないことを確認してください。
- 三輪車としてご使用いただく際は、お子さまの足が地面およびペダルに確実につくことを確認してから使用させてください。
- 三輪車ではケガをするおそれがありますので、必ずペダルと前輪が連動する状態で使用させてください。



<トレーニングバイクで使用する時>

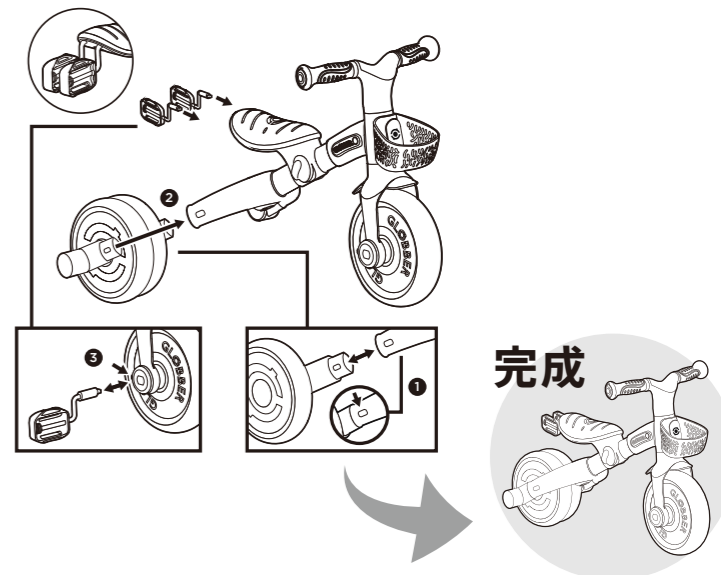
三輪車からトレーニングバイクへの組み立て

お子さまが三輪車の乗り方にマスターしたら、トレーニングバイクへモード変更します。

- ①左右の後輪を後輪取り外しボタンを押しながら外します。
- ②左右の後輪を反対向きに合わせ、フレームの内側になるように後輪取り外しボタンがカチッとなるまで本体フレームに差し込みます。
- ③ペダル脱着ボタンを押しながら左右のペダルを抜き取ります。ペダルはサドル後部に収納することもできます。

警告

- トレーニングバイクとしてご使用いただく際は、必ずヘルメットとプロテクターなどの保護具を着用してください。
- 必ずペダルを外して使用させてください。
- 使用前に、お子さまが座った時両膝を少し曲げた状態で、両足裏が地面に着くことを確認してから使用を開始してください。
- 本製品はブレーキをかけても急には止まれないため、安全な距離を保ち、スピードを出しすぎないようにご注意ください。
- 本製品に引っ掛かる可能性のある衣類を身につけて使用しないでください。本製品に引っ掛けて転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 衣類や足などがタイヤに巻き込まれる可能性があります。前車輪がロックするなど、ケガをするおそれがあります。



製品仕様

お子さまコントロールバー付き三輪車の乗り方をマスターしたら、三輪車、トレーニングバイクの順にモードを変更します。

モード	製品重量(kg)	製品サイズ(cm)
コントロールバー付き三輪車	3.02	高さ 82.3-84.5
		長さ 83
		幅 39.5
三輪車	2.46	高さ 43
トレーニングバイク	2.46	長さ 62.2
		幅 39.5
		高さ 43
長さ 62.2		
幅 30.7		
材質	ポリプロピレン、鉄、熱可塑性エラストマー、ポリアミド、EVA樹脂、ポリアセタール	
サドル高さ	地面より27.1cm~28.3cm	
タイヤ直径	前輪20cm/後輪18cm(2本)	
対象年齢	12カ月から36カ月まで	
耐荷重	20kgまで ※バスケットは500gまで	
身長	70cm以上	